

補助事業番号 28-65

補助事業名 平成28年度 公設工業試験研究所等における機械等設備拡充補助事業

補助事業者名 鹿児島県

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

鹿児島県工業技術センターにおいて、金型加工、精密加工、溶接、金属熱処理等の技術力の向上、省力化を含めた生産工程の合理化や企業技術者の育成を積極的に進めている。

機械金属工業関係の設備を整備拡充することにより、積極的な試験研究と技術支援を実施するとともに、業界に機器を開放して活用の促進を図り、当県機械金属工業の技術の向上と振興に寄与することを目的として本補助事業を実施した。

### (2) 実施内容

本事業で「顕微赤外面分析装置」及び「塩乾湿複合サイクル試験機」を導入した。

顕微赤外面分析装置はプラスチック等の有機化合物の分析を行う装置で、微量試料の測定もできる。測定により得られた物質固有のスペクトルをデータベースと比較して、定性を行う。また、イメージング機能を用いることによって、成分分布の様子を可視化することも可能である。本装置は、フーリエ変換赤外分光光度計、赤外顕微鏡、制御用ソフトを組み込んだ制御装置、モニター等で構成される。



**顕微赤外面分析装置**

塩乾湿複合サイクル試験機は、金属材料などの表面の腐食促進試験を行い、腐食性能を評価する装置であり、JISに準拠した腐食促進試験、めっき品の耐腐食性能確認試験、新製

品開発に伴う腐食実験などを行うことができる。



**塩乾湿複合サイクル試験機**

## 2 予想される事業実施効果

顕微赤外面分析装置の導入により、プラスチック製品の分析、あるいは付着物の定性に用いることで、新製品の開発や品質管理といった機械・金属加工業界における様々なニーズに応えることができる。

塩乾湿複合サイクル試験機の導入により県内企業の腐食性能評価に関する様々な技術的課題に対応できる。

導入機器が有効に活用されることにより、本県の機械・金属加工業の振興及び中小企業の活性化に大きく寄与することが期待され、試験研究業務にも有効に活用できると考える。

## 3 本事業により導入した装置

### ① 顕微赤外面分析装置

設置場所：鹿児島県工業技術センター管理研究棟(2F)第4 機器分析室

本装置は有機化合物の定性・定量を行う装置である。

### ② 塩乾湿複合サイクル試験機

設置場所：鹿児島県工業技術センター管理研究棟(3F) 表面処理研究室 I

本装置は金属材料などの表面の腐食促進試験を行う装置である。

### ③ 本事業に係る印刷物等

無し

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名:鹿児島県工業技術センター(カゴシマケンコウギョウギジュツセンター)

住所:〒899-5105

鹿児島県霧島市隼人町小田 1445 番地 1

代表者:所長 新村 孝善(シンムラ タカヨシ)

担当部署:庶務部(ショムブ)

担当者名:庶務部長 山崎 安弘(ヤマサキ ヤスヒロ)

電話番号:0995-43-5111

FAX :0995-64-2111

E-mail :shomu@kagoshima-it.go.jp

URL :<http://www.kagoshima-it.go.jp/>